



地域連携担当副院長よりご挨拶

東京都健康長寿医療センター副院長、フレイル予防センター長 荒木 厚



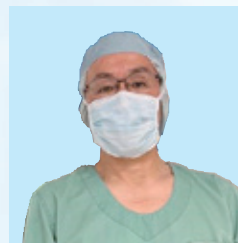
東京都健康長寿医療センターの荒木と申します。時村先生とともに連携担当を務めます。

まず、地域の先生におかれまして、日頃から多くの患者を紹介していただき、感謝申し上げます。

COVID-19 感染症も5類となって、まだ注意が必要ですが、ポストコロナ時代に向けて一歩進んだように思います。ポストコロナでは、コロナで閉じこもりがちな高齢者におけるフレイルが大きな問題の一つになっていると思っています。身体活動の低下、バランスの悪い食事、社会とのつながりの少なさ以外に、医療機関への受診が乏しいことや必要な介護サービスを受けないこともフレイルをきたす原因となると考えています。行政、医師会の先生、基幹病院の医師、地域のメディカルスタッフが協力して、包括的なフレイル対策を進めることができたらと思います。幸い、この地域には豊富な人的資源や社会資源があり、地域でネットワークを作ることで、運動などのセルフケアを向上させることが可能であると思われま

す。フレイルのリスクとなる疾患には、①糖尿病、心臓病、慢性腎疾患、慢性閉塞性肺疾患などの生活習慣が関係する疾患、②骨粗鬆症、変形性関節症などの骨関節疾患、③軽度認知障害・認知症があります。これらの疾患に対して地域の先生と基幹病院の先生が連携し、その重症化予防に取り組むことでフレイル予防、介護予防ができると考えております。当センターには、これらの疾患の専門医が多くいますので、治療で困ったことがある場合にはお気軽にご相談していただけたらと思います。

副院長 時村 文秋



連携医の皆様には日頃より大変お世話になっております。

一昨年より地域連携を担当しておりますが、2022年度からは、内科系の荒木副院長と共に、副院長2名体制となりました。

超高齢社会を迎えるにあたり、生涯、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けるためには、医療及び介護サービスなどを地域で一体的に受けることができる地域包括ケアシステムを構築することが喫緊の課題とされております。病床機能分化と連携の推進、介護との連携強化は、地域包括ケアシステムの構築の重要な位置付けとなってきています。そのためには連携医の皆様のご協力・ご指導は必須と考えておりますので引き続きよろしく願いいたします。

2020年より始まりましたコロナ感染もようやく下火になりつつありますが、第9波を迎える可能性もあり、引き続き院内感染対策をはじめ、安全・適切な診療に努めたいと考えています。

連携医の先生には、いつも患者さまをご紹介いただき深く感謝しております。昨年度からは、webを活用したC@RNA systemの利用を進めており、多くの先生方にご好評をいただいております。まだご利用されていない先生方には、是非、一度体験していただければと思います。

本年も、ご紹介していただいた患者様に対しては必ず報告をするように指導し、連携係でもチェック体制を取っております。

今後ともよろしく願いいたします。

新任医師のご紹介

これからお世話になります。ご紹介のほどよろしくお願いいたします。



呼吸器外科専門部長

土屋 武弘

(つちや たけひろ)

出身大学	筑波大学
専門分野	呼吸器外科一般
資格	外科専門医・指導医 呼吸器外科専門医・評議員 がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会修了 臨床研修指導医講習会修了
コメント	若年者から高齢者まで気胸・縦隔腫瘍・肺腫瘍など、呼吸器外科一般を専門としております。治療に関しては呼吸器内科、放射線科の先生方等と連携し、患者様の状態に合わせて、最適な医療を検討しております。お気軽にご相談ください。どうぞよろしくお願いいたします。



放射線診断科医長

鈴木 文夫

(すずき ふみお)

出身大学	東京大学
専門分野	神経放射線画像診断
資格	放射線診断専門医 日本医学放射線学会研修指導者 医学博士
コメント	2023年4月から放射線診断科に着任しました鈴木文夫と申します。専門領域は神経放射線画像診断です。画像診断を通じて地域医療や高齢者医療に貢献できるように努めていきたいと思っております。不慣れなことがあり、ご迷惑をおかけすることもあるかと存じますが、何卒よろしくお願いいたします。

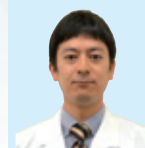


眼科部長

善本 三和子

(よしもと みわこ)

出身大学	筑波大学
専門分野	糖尿病網膜症、加齢黄斑変性、網膜血管閉塞疾患、白内障
資格	日本眼科学会眼科専門医 身体障害者福祉法指定医 難病指定医 視覚障害者用補装具適合判定医師研修会修了 PDT 認定医 水晶体嚢拡張リング (CTR) 講習会受講修了 A型ボツリヌス毒素製剤ボトックス講習・実技セミナー修了
コメント	網膜疾患、とくに糖尿病網膜症、糖尿病黄斑浮腫、加齢黄斑変性、網膜静脈閉塞症などを専門としております。高齢患者さんの多い当センターで、QOV(Quality of vision)の改善がより良いQOLにつながるように、眼だけではなく全身を診ることで、より患者さんに寄り添った医療が提供できるよう努めてまいります。



病理診断科医長

六反 啓文

(ろくたん ひろふみ)

出身大学	東京大学
専門分野	消化器病理
資格	病理専門医 分子病理専門医
コメント	4月より赴任いたしました。病理診断の際には治療やフォローアップの方針決定に役立つ視点を心がけ、高齢者医療に貢献いたします。初期臨床研修でも御縁のあった当センターでの勤務となり、久しぶりの板橋区の街並み、風情も懐かしく感じております。宜しくお願ひ申し上げます。



腎臓内科・透析科医長

鈴木 訓之

(すずき のりゆき)

出身大学	杏林大学
専門分野	腎臓内科・透析
資格	日本内科学会認定医・総合内科専門医 日本腎臓学会専門医・指導医 日本透析医学会専門医・指導医 日本老年医学会専門医・指導医 日本透析医学会 VA 血管内治療認定医
コメント	丁寧な診療を心がけております。よろしくお願いいたします。



循環器内科専門医長

二見 崇太郎

(ふたみ しゅうたろう)

出身大学	九州大学
専門分野	循環器内科一般、心臓超音波検査、弁膜症、心不全
資格	日本内科学会総合内科専門医 日本循環器学会循環器専門医 日本超音波医学会超音波専門医 日本心エコー図学会 SHD 心エコー図認証医 日本周術期経食道心エコー認定委員会 (JB-POT) 認定医 日本老年医学会老年科専門医
コメント	今年度より循環器内科へ赴任した二見 崇太郎と申します。心不全、弁膜症、超音波領域を専門としています。医療の高度化や高齢化に伴い、治療適応やその後のフォロー等に関して専門医療施設と一般医療施設の間での理解に乖離を生じ始めているように感じます。その「橋渡し」ができればと思います。気になる病状の方がいらっしゃいましたら何時でもご相談ください。



血管外科専門医長

牧野 能久

(まきの よしひさ)

循環器内科医員	齋藤 義弘 (さいとう よしひろ)	耳鼻咽喉科医員	家坂 辰弥 (いえさか たつや)
循環器内科医員	両角 愛 (もろすみ あい)	麻酔科医員	兒玉 瑞穂 (こだま みずほ)
循環器内科医員	吉村 沙織 (よしむら さおり)	泌尿器科医員	村田 弘明 (むらた ひろあき)
放射線診断科医員	張 申逸 (ちょう しんいち)	脳神経外科医員	田口 備教 (たぐち まさのり)
放射線診断科医員	佐々木 舞 (ささき まい)	整形・脊椎外科医員	河田 学 (かわた まなぶ)
脳神経内科医員	平 賢一郎 (たいら けんいちろう)		

昇任医師のご紹介



**糖尿病・代謝・内分泌内科部長（診療科長）
救急診療部専門部長**
田村 嘉章
(たむら よしあき)

出身大学	東京大学
専門分野	糖尿病、代謝、内分泌疾患、老年医学
資格	日本内科学会認定総合内科専門医・研修指導医 日本糖尿病学会認定糖尿病専門医・指導医 日本内分泌学会認定内分泌代謝科（内科）専門医・指導医 日本老年医学会認定老年病専門医・指導医・代議員 日本動脈硬化学会指導医・評議員 日本医師会認定産業医 東京大学医学部（糖尿病・代謝内科）非常勤講師
コメント	当院に赴任して20年目になります。高齢糖尿病患者さんには合併症予防とともにQOLを重視した治療選択を行っており、最近ではフレイルの評価と予防、さらにCGMや1型糖尿病のインスリンポンプ導入にも力を入れています。甲状腺をはじめ内分泌疾患も豊富に診療しております。お気軽にご紹介をいただけますと幸いです。



感染症内科専門部長
小金丸 博
(こがねまる ひろし)

出身大学	筑波大学
専門分野	感染症一般
資格	日本内科学会総合内科専門医 日本感染症学会感染症専門医 ICD（インフェクション・コントロール・ドクター） 身体障害者指定医（ヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能障害）
コメント	この度、感染症内科専門部長を拝命いたしました。2020年以降は主に新型コロナウイルス感染症の診断、治療、予防、院内感染対策構築の役割を果たしてきました。今後は新型コロナウイルス感染症のみならず、高齢者の感染症診療やワクチンによる感染症予防などを通して、地域医療に貢献していきたいと考えております。どうぞよろしくお願い致します。



循環器内科医長
鳥羽 梓弓
(とば あゆみ)

出身大学	千葉大学
専門分野	高血圧、心不全
資格	日本内科学会総合内科専門医 日本循環器学会循環器専門医 日本高血圧学会高血圧専門医・指導医 日本老年医学会認定老年病専門医・指導医
コメント	循環器内科疾患は症状が多岐です。患者さんの話をよく聞き、一人一人に最適診療を心がけてまいります。心肺運動負荷試験も積極的にっておりますので、運動耐容能評価、労作時息切れが気になる方はいつでもご紹介ください。



糖尿病・代謝・内分泌内科専門医長
大庭 和人
(おおば かずひと)

出身大学	北里大学
専門分野	糖尿病、内分泌代謝、老年医学
資格	日本内科学会認定総合内科専門医 日本糖尿病学会認定糖尿病専門医 日本内分泌学会認定内分泌代謝科専門医 日本老年医学会認定老年病専門医・代議員



脳神経外科専門部長
高梨 成彦
(たかなし しげひこ)

出身大学	帝京大学
専門分野	脳神経外科・脳血管内治療
資格	日本脳神経外科学会専門医 日本脳神経血管内治療学会専門医
コメント	当院に赴任してから10年間、連携医の先生方には大変にお世話になりました。これからは専門部長として地域連携のさらなる発展にむけて努める所存です。新任の小原健太先生は血管内治療・開頭手術どちらにも熟達されており、当科の診療は一層充実することになります。動脈瘤・動脈狭窄、髄膜腫・グリオーマ、水頭症など脳外科疾患全般に対応しますので、是非我々にご相談ください。



心臓血管外科医長
眞野 暁子
(まの あきこ)

出身大学	京都府立医科大学
専門分野	循環器内科一般、心不全、補助人工心臓、心臓移植
資格	循環器専門医 認定内科専門医 ECFMG certificate 集中治療専門医 植込み型補助人工心臓管理医 看護師特定行為研修指導医



循環器内科医長
小松 俊介
(こまつ しゅんすけ)

出身大学	東京医科大学
専門分野	循環器一般、虚血性心疾患、不整脈
資格	総合内科専門医 循環器専門医 産業医 禁煙サポーター
コメント	何でもご相談ください。話しやすい雰囲気をつくりお待ちしております。



腎臓内科・透析科専門医長
岡 雅俊
(おか まさとし)

出身大学	山梨大学
専門分野	腎臓内科・血液透析・再生医療
資格	透析専門医
コメント	日頃より大変お世話になっております。当科は、腎炎・血管炎・ネフローゼ症候群などが疑われる患者には腎生検を含めた検査・治療を行っております。また高齢者の慢性腎臓病はフレイル合併率が高いことが知られており、加齢による腎障害の保存的治療に加えてフレイル予防に力を入れております。連携医の先生方とともに地域医療に貢献することを目指しております。どうぞよろしくお願い致します。

「C@RNA Connect」のご紹介

「C@RNA Connect」とは…

インターネットのウェブブラウザ（インターネットエクスプローラやクローム）で、MRI、CT、PET等画像診断や診療予約を24時間いつでも予約可能なシステムです。（※利用にはご登録が必要です。）

事前手続きについて

センターホームページの「地域連携 C@RNA Connect 新規申込書」に必要事項をご記載、ご捺印の上、医療連携係にご郵送ください。

<https://www.tmg Hig.jp/hospital/community/carna-connect/registration/>
HOME > 地域連携 > C@RNA Connectのご紹介 > 新規登録のご案内



在宅医療連携病床へのご入院について

患者さんが在宅での生活を継続するため、訪問診療医からの要請のもと、一時的（原則として2週間以内）に、ご入院を受入れさせていただきます。

老年症候群による低栄養、褥瘡、摂食・嚥下機能等の評価や罹患している病気の現状評価を実施します。そのほかにも全身状態を把握するためのCT等の画像検査や生理機能検査、内視鏡検査等の評価目的のご入院もお受けしております。なお、病状評価の結果、専門的な治療が必要な場合には、専門となる診療科へご紹介させていただきます。また、介護者の体調不良や不在時におけるレスパイトケアでのご入院も対応しております。

ご入院をご希望される場合は、医療連携係までご連絡ください。ご依頼の概要をお伺いしたのち、診療情報提供書（紹介状）及び検査データ等をFAXいただき、ご入院へ向けての準備を進めてまいります。

栄養指導外来のご依頼について

連携医の先生が糖尿病や高血圧、脂質異常症等の生活習慣病治療において、管理栄養士による栄養食事指導が必要と判断された患者さんを対象に以下の内容で栄養指導外来を開設しております。

- ・ 指導回数は2～3回程度を目安としております。
- ・ 指導終了後、指導内容について連携医の先生にご報告いたします。
- ・ 保険診療の範囲内での指導を想定しています。

ご利用にあたっては、事前のご予約が必要です。医療連携係までご連絡ください。

各種お問い合わせ先

◆ 脳卒中ホットライン

TEL：080-4116-1141（直通）

脳神経外科医（夜間・休日は神経系当直医）が直接お電話をお受けいたします。
脳卒中の発症が疑われる場合にご活用ください。

◆ 緊急受診・緊急入院のご相談

TEL：03-3964-1141（代表）

原則として、各診療科の連携当番医が直接お電話をお受けいたします。電話交換手へ『緊急受診（入院）の依頼です。〇〇科の連携当番医につないでください』とお話してください。
医師が直接お電話で病状等のお聞き取りをいたします。

◆ 東京都健康長寿医療センター

地域連携課 医療連携係

受付時間（月～金） 9:00～17:00

TEL：03-3579-6963（直通）

FAX：03-3964-1392（直通）

